

UCHIKOCHI

vol.56



特集

元気企業！紹介

- 大塚産業マテリアル(株) P2
- (有)とも栄菓舗 P4
- 日本アドバンスストアグリ(株) P6
- (株)メンタル・パワー・サポート P8

プラザの事業紹介

- 産業・雇用創造推進センター P10
- 滋賀ものづくり経営改善センター P14
- インフォメーション P16
- 滋賀県よろず支援拠点 P18
- 第三期中期経営計画 P19



長浜の歴史とともに歩みつづける 創業 300 年の老舗企業

大塚産業マテリアル 株式会社

代表取締役社長 大塚 敬一郎 さん

大塚産業マテリアル(株)は、1706年創業の大塚産業グループの中核で、江戸時代から庶民の生活に欠かせない蚊帳の製造に携わってきた。時代の変化やニーズにあわせ、絶えず技術革新を行い、新たな事業にチャレンジしてきた。現在は、自動車シートの内部材やカバー、ヘッドレストなどを中心に縫製品を製造している。「一時の利を求めることなく世の中の人々の利を優先する」という創業時からの経営理念を受け継ぎながら、地球環境に優しく、人々の生活を快適にする製品づくりに尽力している。

技術開発力で 時代に適応する

— 事業内容を教えてください

1706年、近江が麻の産地であったことから、麻を使って蚊帳の製造をはじめました。近江商人が全国へこの蚊帳を売り歩き、1800年代には三井越後屋呉服店(三越の前身)と取引を行っていたそうです。昭和になっても蚊帳は基幹事業でした。一方で、羊毛の代用品である繭短けんたん) 繊維の開発や真綿を機械で量産するなど、当時から技術開発には熱心でした。戦時中は真綿を樹脂で固めてFRPのようなものを開発し、飛行機の操縦桿として軍に納入していたこともありました。

戦後は、蚊帳の製造技術を活かし、琵琶湖の葦などの天然素材を使った壁紙を大量生産するシステ

ムを開発、欧米に輸出を始めました。昭和40年以降になると、住宅事情が改善され、蚊帳の需要がほとんどなくなったことから、先代の社長がこの壁紙を車の内装に使えないかと、メーカーに持ち込んだそうです。壁紙は採用されませんでした。自動車の座席のSバネを受けるために使用されていたジュート織物の代替品をつくれないうという相談を受けました。そこでポリエチレンフィルムヤーン織物を開発し、大手自動車メーカーと取引がはじまりました。日本が自家用車の普及期であったこともあり、以降、車の内装部材の製造が増えていったのです。

— サポインに採択されたそうですが?

現在、座席の主要部分であるウレタンモールドの補強材を、素材の企画から設計、製造までを一環して

行っています。月に400万枚の補強材を出荷しているので、日本の車の約6割程に、弊社の製品が使われていることとなります。

従来は裁断・縫製で3次元の形にしていたのですが、近年、形の複雑さと作業性の向上のため、成形品の要望が顧客から多くなり、成形してから余分な部分を手作業で切り取っていました。この作業を中国の工場で行っていたのですが、国内で自動化してやれないかということでサポインを活用させていただきました。最初は3Dプリンターで試作しましたが、樹脂では強度が出ず、補強材には不向きでした。その後、金型にニクロム線を埋め込み、成形と同時に焼き切る方法で試してみたところ、うまくいったのです。ポリエステルの軟化温度を下げるなど試行錯誤し、製品として出荷できるものができました。



DATA

- 大塚産業マテリアル 株式会社
- 代表者/代表取締役社長 大塚 敬一郎
- 従業員数 / 132名
- 住所 / 〒526-0021 滋賀県長浜市八幡中山町1番地
- 創業 / 1706年
- 業務内容 / 自動車内装部品の製造・販売 / 靴・雑貨ラミネート品の製造・販売 / 健康・介護器具部品の製造・販売 / リビング家具・事務用椅子カバーの製造・販売
- TEL : 0749-62-3251 ●URL / <http://otks.jp/material/>



— 御社が取り組んでいる、改善提案活動とはどのようなものですか？

与えられた作業を黙々とこなすだけでは、仕事に面白みがありません。一人ひとりが仕事に関心をもてるよう、日常のどんな些細なことや平凡なことでもいいので、改善できることを提案用紙に記入してもらっています。毎月、優秀賞を選ぶなど、ゲーム感覚で楽しく取り組める制度です。しかも提案が認められた、役にたったという実感が、やりがいに繋がっているようです。改善提案の増加とともに、効率がよくなり、生産性も向上していると思います。

— 今後の展望を教えてください

弊社は 300 年以上、長浜で操業し続けてきました。これは、従業員や取引先、仕入先など、多くの人た

ちとこの長浜に支えられてきたおかげです。ですから、長浜の発展に、貢献できないかと常々考えています。

長浜ビジネスサポート協議会を商工会議所、商工会、金融機関、県、市、長浜バイオ大学等と一緒に立ち上げ長浜市一体となって活動しています。平成 30 年に完成する産業創造センター（仮称）ができれば更に一步進んだ産業振興が出来るものと楽しみにしています。

産業支援プラザにも、定期的に出張していただき、様々な支援をしてもらえたらと思います。弊社もサポイン事業に応募する際、煩雑な事務処理を丁寧にサポートしていただきました。このような需要はたくさんあると思うのです。

長浜が私の子どもや孫の世代まで末永く愛される「まち」であるよう、大塚産業グループが少しでも力になれば嬉しく思います。



▲自動車の座席内部の補強材。成形した後、手作業でトリミングしなければならないが、サポインを利用し、成形とトリミングが同時にできるシステムを開発した。



▲昭和 9 年に大塚産業内に移設された旧長浜小学校の校舎。長浜の歴史的建築物を保存する一助を担っている。現在は、社員食堂として使用されている。

戦略的基盤技術高度化支援事業（通称：サポイン事業）

国の経済産業省の事業で、精密加工、立体造形等 12 の技術分野の向上に繋がる研究開発、その施策等の取り組みを支援することが目的です。

特に、中小企業・小規模事業者が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発及びその成果の販路開拓への取組を一貫して支援します。

経済産業局

補助金

中小企業・研究機関・
ユーザー企業等の
共同研究体

補助金額

補助事業あたり 初年度 4,500 万円以下

補助率

大学・公設試等の補助対象経費：定額（初年度 1,500 万円以下）
上記以外の補助対象経費：2/3 以内

2 年度目：初年度の補助金交付決定額の 2/3 以内（定額：1,000 万円以内）

3 年度目：初年度の補助金交付決定額の半額以内（定額：750 万円以内）

問い合わせ先

（公財）滋賀県産業支援プラザ 連携推進グループ

TEL：077-511-1414 FAX：077-511-1418 E-mail：shin@shigaplaza.or.jp

安曇川の味を世界へ 和菓子の可能性と日本の心を広める

有限会社とも栄菓舗

代表取締役 西沢 勝治 さん / 専務取締役 西沢 恵利 さん

昭和7年創業のとも栄。安曇川で愛され続けてきた味を、世界に羽ばたかせようと2010年にアメリカのミシガン州で、初めての実演販売に挑戦した。アメリカでは豆を甘く炊く習慣がないため、和菓子の餡が受け入れられるか不安に感じていたが、予想以上の好感触を得て帰国。ユネスコの無形文化遺産に和食が採択されたことも後押しとなり、さらに販路を海外に広げていきたいと、ヨーロッパや中国、東南アジアへの視察も積極的に行っている。

和菓자에日本の文化を 内包させる

— 海外進出のきっかけは何ですか？

滋賀県とミシガン州が姉妹県州であるということで、県からミシガン州で和菓子の実演販売をしてみないかという提案がありました。ちょうど、全国菓子博覧会の工芸菓子部門で最優秀賞を受賞した時期だったので、お声掛けいただけただと思います。

その時に、県の国際室の方から現地の商社を紹介してもらい、現在は北米での販売をおまかせできるようになりました。

今年の7月にはイタリアの博覧会に出展する「ZEN BENTO」に、とも栄の和菓子を加えさせていただく機会を得ました。これは滋賀の日本

料理界の匠の方々が地元の食材だけで作った、ベジタリアン向けの精進弁当です。「ZEN BENTO」はヘルシーで見栄えも美しいと好評で、準備した300人分は、あっという間になりました。このように高級日本食と関連させて、海外展開を図って行くことも重要だと思いました。

上生菓子は1つ約45gです。その中に、四季の味覚や色彩、ストーリーを盛り込んでいる、世界に類をみないお菓子だと思います。寿司が世界でポピュラーになったように、次は和菓子が世界に受け入れられるようになるのではないかと、肌で感じることができました。

— 品質管理に力をいれているとのことですが？

和菓子は職人の手によって作られます。一般に管理方法も含め、ノ



ウハウは師匠や先輩から、弟子・後輩へと口伝されます。

2013年から、ANAのシカゴ発成田便のビジネス・ファーストクラスの機内食に、弊社の和菓子が採用されることになりました。平均して1日80人分ほどの和菓子を納入するのですが、クレームがでないよう、製造に細心の注意を払わなければならない。これを機に、きちんとルールをつくり、これまでも増して良質な和菓子を製造しようと思



▲西沢勝治氏の工芸菓子。粉糖に寒梅粉をまぜたものを色づけてつくる。非常に繊細で一つの作品を仕上げるのに数ヶ月かかる。

DATA

- 有限会社 とも栄菓舗
- 代表者/代表取締役 西沢 勝治
- 従業員数 / 20名
- 住所 / 〒520-1212 滋賀県高島市安曇川町西万木211-1
- 創業 / 1932年
- 業務内容 / 和洋菓子の製造・販売
- TEL : 0740-32-0842
- URL / <http://www.sweet-tomoe.com/>



い、HACCP の取得を考えるようになりました。

そこで、産業支援プラザの「専門家派遣制度」を利用して、食品衛生の専門家に来ていただき、月に1度、社内勉強会を開催することにしました。社員とともに学ぶことで、みんなが同じ目標に向かい、プライドを持って仕事ができるようになりました。今まで気づかなかった時間やモノのロスを管理することで、利益向上にも繋がっています。

— 今後の目標は？

これまでどおり、本店での販売を中心に地域に愛される和菓子店を目指しています。しかし、冠婚葬祭などお菓子をを使う習慣の変化や、インターネット通販など販売チャネルの多様化を考えると、本店以外での外

販や海外での販売にも力を入れなければと考えています。

海外で販売をしていくにあたり、和菓子の味や価格をローカライズさせるべきか非常に悩みました。ですが、本物の和菓子を知っていただきたいという思いから、ターゲットを絞り、販売方法を限定することにしました。まずはハイクラスなレストランやデパートなどで、和菓子とともに日本の文化や心を楽しんでいただくのが理想です。これからは、商品の魅力をもっと高めるため、ブランディングにも力を入れていくつもりです。

近くには京都という大きな地名ブランドがありますが、その京都ブランドに負けない「安曇川のとも栄」の魅力を知っていただき、日本や海外のお客さまに喜ばれる和菓子を育てていきたいと思っています。



▲アメリカで行われた実演販売の様子。



▲ANAのシカゴ発成田到着便のビジネス・ファーストクラスで提供されるとも栄のアドベリー菓子。

専門家派遣事業

経営の向上、経営革新や創業に取り組んでおられ、明確な目標とプランをお持ちで、課題解決のためにコンサルティングを希望される方に、産業支援プラザが登録専門家を現地へ派遣して診断助言を行う事業です。

- 1企業あたり年間最大10回までの派遣が可能です。
- 相談場所…商店・工場など現地へ専門家が向かい実施します。
- 派遣する専門家は指名していただけます。該当する専門家がわからない場合は、産業支援プラザで紹介いたします。



費用負担について

相談時間の目安	専門家の実費 (1回あたり)	相談依頼人の 費用ご負担金額
2時間程度	27,000円	9,000円
4時間程度	36,000円	12,000円

費用 1/3 を負担いただけます。
(2/3 は産業支援プラザが負担します。)

注：「中小企業者など」とは、創業者・経営者の向上を図る中小企業者および組合などをさします。

【申込方法】

プラザのホームページから申込書をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、下記問い合わせ先までご連絡ください。
→ <http://www.shigaplaza.or.jp/senmon/>

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営・国際ビジネス支援グループ

TEL : 077-511-1413 FAX : 077-511-1418 E-mail : keiei@shigaplaza.or.jp

照明機器メーカーから農業ベンチャーへ WEB プロモーションで認知度 UP

日本アドバンストアグリ株式会社

取締役／通販事業部責任者 辻 侑資 さん

2006年、照明機器の企画・製造を行うツジコー株式会社が母体となり、植物工場事業を展開する日本アドバンストアグリ株式会社を設立。機能性野菜アイスプラントのピニトールという糖質代謝を高める成分に着目し、栄養機能食品「グラシトール」の開発に成功、2013年より通信販売をスタートさせた。ネット事業は初めての試みで、販売当初は苦戦したものの、WEB プロモーションを積極的に取り入れ、順調に売り上げを伸ばしている。

自社のシーズをもとに 新しいビジネスモデルを模索

— 植物を工場で育てるきっかけは何ですか？

日本アドバンストアグリの母体となっているツジコー株式会社は、照明機器の企画・製造を基幹事業としていますが、蓄積された自社の技術で何か新しいことができないかと模索していた時期がありました。ちょうどその時、植物の成長に必要な光の波長が解明されてきたこともあり、弊社代表が植物育成用照明システムの開発に着手したのです。その後、生産性の実証も兼ねて、長浜バイオ大学にも協力を頂きながら、植物工場を立ち上げることになりました。

最初は、レタスなどの葉物野菜を育てていたのですが、露地栽培で

安価にできるものを、工場で生産しても価格競争力がありません。そこで目を付けたのが、機能性野菜アイスプラントです。

アイスプラントとは、南アフリカが原産の多肉植物で、表面の水滴状の粒の中に、水分や塩分を蓄えるのが特徴です。また、ピニトールやプロリン、βカロテン、ビタミンKなどの機能性成分が豊富で、特にピニトールにはインスリン感受性を高める作用があり、糖尿病予防に効果が期待されています。

植物工場内では温度や湿度、光質の制御が可能です。私たちの研究から、アイスプラントは乾燥ストレスや塩ストレスを与えると、ピニトールやポリフェノールなどの抗酸化成分をより多く生成することが分かりました。

このアイスプラントは「ツブリナ」というブランド名で全国の食品スーパーやレストランなどへ卸していま



すが、適度な塩分濃度で、茎がシャキシャキと美味しいことから、たいへん好評をいただいております。

さらにアイスプラントの機能性成分を濃縮化し、高付加価値をつけたものが栄養機能食品の「グラシトール」です。

安心・安全をキーワードに 顧客の課題を解決する

— IT や WEB に力を入れておられますね

2013年に「グラシトール」を販売するWEBサイトを開設しましたが、Eコマースの経験がないため集客の方法がわからず、売上げはほとんどない状態でした。そんな折、産業支援プラザが主催されたWEB活用セミナーや、ネットショップ革新セミナーでWEB

DATA

- 日本アドバンストアグリ株式会社
- 代表取締役 辻 昭久
- 従業員数 / 4名
- 住所 / 本社：滋賀県長浜市末広町 617-1
- 設立 / 2006年4月3日
- 業務内容 / 植物工場設計・施工、3波長ワイドバンドLEDの販売、ストレス負荷型栽培装置の販売、機能性植物からの天然機能性成分生成及び販売、工場野菜生産販売
- TEL : 0749-53-0101 ● URL / <http://www.adv-agri.co.jp/>



マーケティングを勉強させていた
だき、また「IT 専門家派遣事業」
を利用して自社のサイトを根本から
リニューアルしたのです。

当初は、ホームページに自社の
商品が陳列されているだけで、全
く活気がないものでした。そこで、
まず顧客がどのような情報に対す
るニーズを持ち、どの様なコンテ
ンツを望んでいるのか分析するこ
とから始め、顧客が望む情報を提
供できるような WEB サイトを目
指しました。リニューアルオープン
した「アグリ生活」では、商品に
含まれる成分や製造プロセスとい
ったコンテンツで情報の開示を
充実させ、商品やサービスの Q&A
などユーザービリティにも配慮し
ています。

現在は、安心安全かつ高品質な
商品をお届けすることをコンセプト

トに、新しい商品の開発にも力を
入れています。

— 今後の目標は何ですか？

ピニトールは、ブドウ糖（グル
コース）を骨格筋へ取り込む糖
輸送担体の働きを促進させること
が明らかにされています。つまり、
血糖値を調整するだけでなく、筋
力の維持向上面においても期待さ
れる成分なのです。糖尿病の予防
には、有酸素運動や軽度のレジス
タンス運動がよいとされています。

今後は少し視点を変え、スポー
ツ科学などの分野からも「グラシ
トール」の効能を検証し、幅広い
ジャンルで、皆様の健康の維持増
進に貢献できればと考えています。



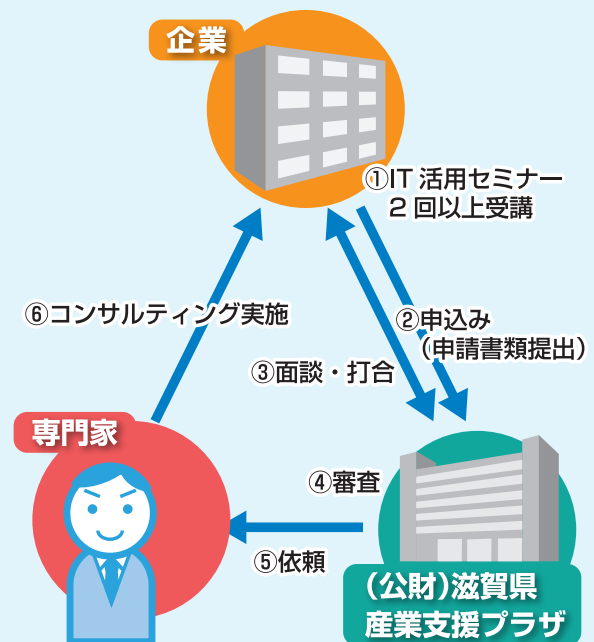
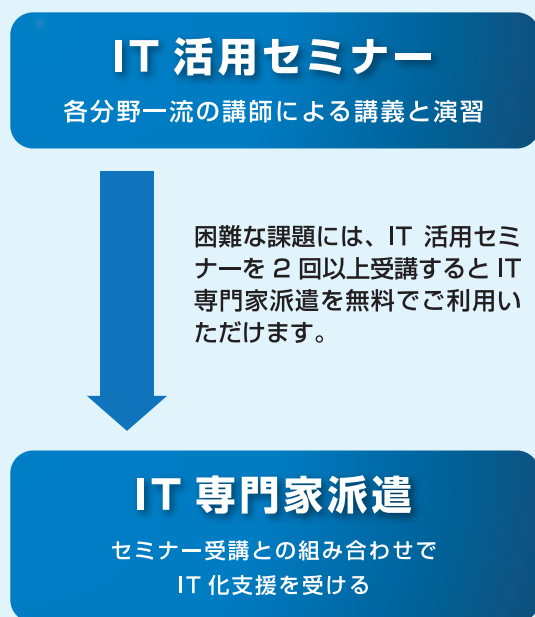
▲野洲事業所にある分析装置。アイスプラントの成分分析に活用している。ピニトールもこの装置で含有量を測定する事ができる。



▲IT 専門家派遣支援制度を利用し開設した WEB サイト「アグリ生活」。「グラシトール」や、「しあわせ減糖茶」（桑葉やサラシアに土山茶をブレンドした健康茶）などを販売している。

情報化推進事業

IT を用いて創業や経営の向上を目指される事業者のために、IT への意識啓発と知見を広げるためセミナー(IT 活用セミナー)を開催し、ご質問やご相談にお応えします。より困難な課題を抱えた企業には、豊富な知識や経験をもつ専門家を派遣(IT 専門家派遣)し、適切な診断・助言を行います。



問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 情報支援グループ

TEL : 077-511-1411 FAX : 077-511-1418 E-mail : jouhou@shigaplaza.or.jp

こころのエキスパートが 自らの経験を活かし、地域の創業を応援

株式会社メンタル・パワー・サポート

代表 丸本 敏久 さん

21年間勤めた日本マクドナルドを退職し2006年に(株)メンタル・パワー・サポートを設立。米国NLP協会認定トレーナーや(財)生涯学習開発財団の認定コーチなどの資格を持ち、個人を対象にした心理カウンセリングやコーチングを行いながら、経営コンサルタントや企業研修講師として全国を忙しく飛び回る。一方、障害を持つ人々と健常者が、当たり前と一緒に働ける社会を作ること为目标に、草津市で「こころ農園」をスタートさせた。



こころのつながりが 人や地域をつなげる

—業務の内容を教えてください

現在は企業研修の講師としての仕事が多く、年間100～150日ほど、全国の企業に赴いています。人材育成、クレーム対応、心理学を活かしたセールスコミュニケーションなど内容は様々です。オファーをいただく業種も官公庁や、メーカー、サービス業など多岐にわたっています。

この仕事を始めるきっかけは、日本マクドナルドに勤めていたときに、「*ホスピタリティプロジェクト」の一員に抜擢されたことです。これはマクドナルドが提唱する「ピープルビジネス」つまり、企業を支えるのは「人」そのものであるという考えのもと、従業員の成長をサポートし、お客様によりよいサービスを

提供することを目標とするプロジェクトでした。

マクドナルドでは21年間勤務し、店長として、店舗経営や人材育成、サービス向上、クレーム処理など、ありとあらゆる経験を積むことができました。また、高校生から主婦、時には会社員など、さまざまな人がアルバイトとして入ってきます。そういうバックグラウンドの違う人々を、マニュアルを踏まえたうえで、自ら考え、行動できる人材に育てなければなりません。相手に「何をするのか」「なぜそうするのか」を気づかせることが大事です。「上手くいく思考」を身につけさせるため、声のかけ方を工夫して研修を行いました。それと同時に「ホスピタリティプロジェクト」に関わることで、その経験を体系化し、人に伝える意義に気づいたのです。

そして在職中に大学で心理学を

学び、退職してからは* NLPの最上級資格を取得しました。マクドナルドでの経験が、今の仕事の大きなベースになっています。

—インキュベーションマネージャーの資格取得について

起業する際、産業支援プラザの創業準備オフィスに入居しました。ここで、インキュベーションマネージャー(IM)に出会い、多くを学んだことで、IMの資格取得を決意しました。それまでの指導経験の中で培ってきたコツが、IMの資格を取得することで理論づけができ、大きな自信となりました。そして、仕事にも幅が生まれたと思います。

カウンセリングをしていると、潜在的に起業願望をもっている人に出会うことがあります。そういう人には、プラザから学んだことなのですが、

DATA

- 株式会社メンタル・パワー・サポート
- 代表者/丸本 敏久
- 従業員数/4名
- 住所/〒520-0832 大津市粟津町2-64 エルミナ石山ビル102
- 設立/2006年
- 業務内容/NLPトレーナー カンセリングコーチングなどメンタルサポート、飲食店コンサルタント、各種企業研修・講演
- TEL: 077-534-2223 ●URL / <http://kokoronochikara.com>



「地域の資源を使い、地域を巻き込むことによって、応援してくれる人が増える」とアドバイスをしています。実際に、地域の方たちと頻りにコミュニケーションをとるようになり、起業に結びつきそうな人もいます。

— 今後の目標は何ですか？

2014年より障害を持つ人々が就労できる場として「こころ農園」の運営をスタートしました。今後の目標は、障害者が進学できる「専攻科」をつくることです。

現状では養護学校を卒業した生徒の90%が作業所に就職していますが、健常者の場合、高校を卒業した生徒の70%以上が大学や専門学校へ進学します。

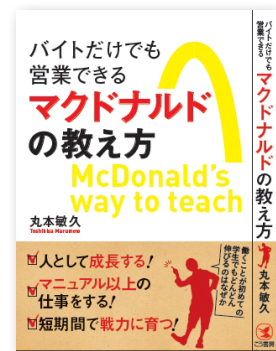
障害者の成長は、とてもゆっくりです。一人でATMを使う、切符を買う、料理をするといったこともできないまま、作業所に就職というのは、あまりにも早過ぎますし、私自身、障害児の親として、子どもには健常者と同じように仲間と共に学び、青春を楽しんで欲しいと考えています。

障害をもつ青年の「学びの場づくり」は急速に全国に広がっています。神戸市に「エコール KOBE」という福祉事業型「専攻科」がありますが、ここを手本にし、将来的には、養護学校を卒業すれば、専攻科に進むのが当たり前という仕組みをつくりたいと思っています。

まずは「こころ農園」を増やすことで、障害を持つ人たちを支援していきたいと考えています。



▲草津市にある「こころ農園」。障害を持つ人に働く場所を提供したいという思いから、ビニールハウス農園としてスタート。主にグリーンリーフレタスを栽培している。WEBでの購入も可能。



▲丸本氏の著書。新人を短期間で戦力化し、社員がいなくても店舗運営できる人材集団に成長させる「教え方」のノウハウが満載。

※ホスピタリティ…「思いやり」「心からのおもてなし」の意味
 ※ NLP…1970年代にアメリカの心理学者と言

語学者が創始した「神経言語プログラミング」。学問のための心理学ではなく、誰もが幸せになるために利用できる道具として開発された。

地域の創業応援隊事業

起業家の発掘から成長までを支援する人材である※インキュベーション・マネジャーを養成し、地域の新たな産業を回り、経済の活性化を図る事を目的としています。

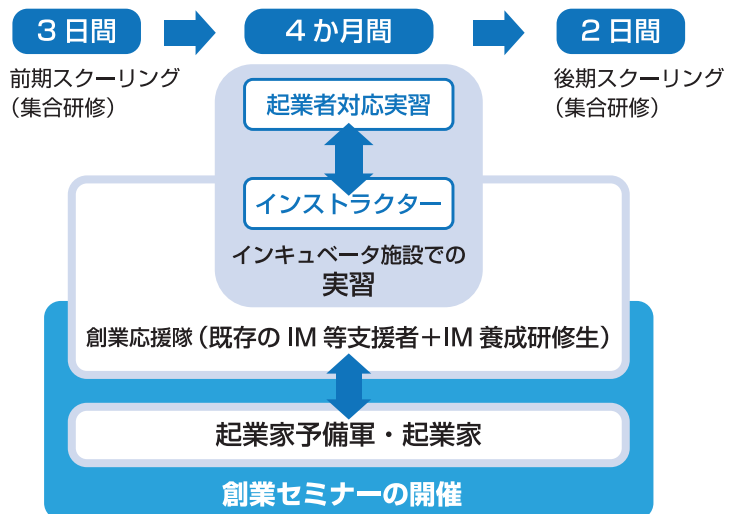
(※インキュベーションマネジャーとは、独立・起業を目指す方や起業して間もない事業者の方に、事業の知識やノウハウ、経営資源など、相談相手となり、事業の達成へ導く人。)

一般社団法人 JBIA の公認養成研修プログラムに則り約 5 か月間にわたり実施します。

【研修内容】

1. 前期スクリーニング
2. OJT 研修
 - 起業者対応実習
 - BI 施設実習
 - 創業セミナー研修の実施
3. 後期スクリーニング
4. 修了論文・活動計画書の作成

地域の創業応援隊育成事業



問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援グループ

TEL : 077-511-1416 FAX : 077-511-1418 E-mail : in@shigaplaza.or.jp

滋賀発の産業・雇用創造

滋賀県が、厚生労働省の「戦略産業雇用創造プロジェクト」の採択(平成27年4月)を受けて、製造業のうち「高度モノづくり・環境」分野と「食料品」分野において、産業振興と一体となった雇用政策を推進しようとするもので、人材確保・育成や新製品の開発・新規事業の展開を支援し、新たな雇用を創造することを目的としています。(実施期間：平成27年度～平成29年度)

【滋賀県産業振興ビジョン】基本理念

「世界にはばたく成長エンジンと地域経済循環の絆で形づくる“滋賀発の産業・雇用”の創造」

実施期間：平成27年度～29年度
計画額：3年間で約7.6億円

滋賀発の産業・雇用創造推進プロジェクト運営協議会

- ・滋賀発の産業・雇用創造推進プロジェクト運営事業
全体調整(推進協議会の運営、事業統括者の設置等)

新製品の開発・新規事業展開への
流れを促進→新たな雇用を創造

人材力の強化

人材の確保・育成

雇用のミスマッチの解消

- ・若年求職者技能習得支援事業
座学・就業体験による就職促進
- ・産業別就職支援事業
企業説明会の開催

中核人材の育成

- ・モノづくり技術人材育成事業
設備開放機器を使用したセミナー等

雇用の確保

- ・地域雇用開発奨励金の上乗せ支給

関連施策

- ・戦略産業雇用創造プロジェクト関連融資
利子補給制度
指定金融機関の融資への利子補助金

小規模事業者を
はじめとする
県内企業

高い成長性や雇用創出
効果が見込まれる分野

- 高度モノづくり
- 環境

国際情勢や景気変動を
受けにくい安定した
成長分野

- 食料品

技術等の多様化・高度化

- ・企業提案型人材育成確保事業
個々の企業の提案に対応した支援
(販路拡大支援、技術開発支援等)
- ・新事業展開等人材育成確保事業
「技術の横展開講座」の運営、
雇用創出コーディネーターの設置

連携による高付加価値化

- ・クリエイティブ産業活用モデル創出事業
マッチング会の開催
(アドバイザーによる助言)、
モデル事業の事業化支援

経営基盤力・連携力・国際展開力等の強化

雇用の受け皿づくりと安定的かつ良質な雇用の創造
雇用創出目標：370人(3年間累計)

推進プロジェクトとは

産業支援プラザでは、 3つの事業を受託実施

滋賀発の産業・雇用創造推進プロジェクト運営事業

「産業・雇用創造推進センター」を設置し、協議会の運営とともに、プロジェクトの全体調整を行い、事業を推進します。

産業別就職支援事業

合同企業説明会(面接会)を実施し、求職者と企業のマッチングを促進します。

企業提案型人材育成確保事業

個々の企業における販路開拓や新規事業展開等への流れを推進する取り組みに対し、補助を行います。

産業・雇用創造推進センターの設置

滋賀県産業支援プラザ内に「産業・雇用創造推進センター」を設置し、センター長と事業推進員2名を配置し、事業の実施とプロジェクトの全体調整を行います。

●センター職員紹介



後列左から 森事業推進員 寺島事業推進員
前列左から 清水センター長 桑田事務員

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 産業・雇用創造推進センター

TEL : 077-511-1424 FAX : 077-511-1418 E-mail : sksc@shigaplaza.or.jp

滋賀発の産業・雇用創造推進プロジェクトとは

プロジェクトでは次のメニューをご用意しています。

技術人材を育てたい

- ★「モノづくり支援総合セミナー」に参加いただけます
 - ・外部講師による先端技術の動向や技術標準・試験規格などを解説します
- ★「モノづくり技術講習会」に参加いただけます
 - ・新製品開発に必要な分析評価方法や製品の品質管理手法等の講習です
- ★分析・測定・評価の実習が受けられます
 - ・工業技術総合センターの機器を使った実習です

モノづくり 技術人材育成事業

工業技術総合センター
☎077-558-1500

従業員を雇いたい

- ★高度専門人材の雇用に助成が受けられます
 - ・1人当たりの人件費に1件2,000千円を限度に助成します
- ★就業体験等を経た若年求職者を雇用することができます
 - ・民間人材サービス会社での概ね4か月の研修により、社会人基礎力や対象分野に関する知識、技術等を身に着けた若年求職者を県内企業等への就職につなげます
- ★合同企業説明会に参加いただけます
 - ・県内2地域(長浜・草津を予定)で開催します

企業提案型人材力 育成確保事業 (高度専門人材確保支援)

産業・雇用創造推進センター
☎077-511-1424

若年求職者 技能習得支援事業

滋賀県労働雇用政策課
☎077-528-3758

産業別就職支援事業

産業・雇用創造推進センター
☎077-511-1424

プロジェクト事業で支援を受けるためには

- 県内に事業所を有すること
- 指定業種(支援対象業種)であること
- プロジェクト運営協議会に参加登録(無料)すること
- 新たな雇用の創出が見込めること

新たな事業展開をしたい

- ★「技術の横展開講座」が受けられます
 - ・座学(シーズ発掘、新商品のノウハウ、事業化方法)や先進企業視察研究、企業マッチング支援が受けられます
- ★雇用創出コーディネーターによる一貫した支援が受けられます
 - ・新事業展開に関し、専門人材の開拓や企業との調整の支援を行います
- ★新規事業展開等の取り組みの提案に助成が受けられます
 - ・試作開発や販路拡大の経費の一部に1件500千円を限度に助成が受けられます

新事業展開等 人材力育成確保事業 (食料品分野を除く)

(一社)滋賀経済産業協会
☎077-526-3575

企業提案型 人材力育成確保事業 (新規事業展開トライアル支援)

産業・雇用創造推進センター
☎077-511-1424

工場の新設や増設をしたい

- ★「地域雇用開発奨励金」に上乗せ支給が受けられます
 - ・基本支給額に加え、1人につき500千円を上乗せします
 - ・プロジェクト事業の実施を契機としたもの

地域雇用 開発奨励金特例支給

滋賀労働局職業対策課
☎077-526-8686

クリエイティブ企業と連携したい

- ★対象業種の企業とのマッチング会をご利用いただけます
- ★マッチングにより制作される案件に助成が受けられます

クリエイティブ産業 活用モデル創出事業

滋賀県商工政策課
☎077-528-3715

金融機関で融資を受けたい

- ★国の利子補給制度が利用できます
 - ・プロジェクト事業の実施を契機としたもの

関連融資利子 補給制度

各指定金融機関

滋賀発の産業・雇用創造推進
プロジェクト運営協議会が
設置されました。

プロジェクトの総力を挙げて取り組むため、関係機関や企業と連携する滋賀発の産業・雇用創造推進プロジェクト運営協議会を設置し、県と共同で事務局を運営しています。



滋賀ものづくり経営改善センター

Shiga Manufacturing Management Improvement Center

滋賀県産業支援プラザでは、今年度から新たに「滋賀ものづくり経営改善センター」を設置しました。

滋賀ものづくり経営改善センターが 目指すもの

『ものづくりの組織能力を強化・推進』する産業人材の育成を支援し、中小企業の経営基盤強化・安定を図ることにより、地域社会全体の付加価値向上(地域創生)と雇用拡大を目指します。



後列左から 廣田事業推進員 田中事業推進員 河崎副主幹
前列左から 深川事務員 北村センター長

滋賀ものづくり経営改善センターの主な事業

産業人材の養成支援

滋賀ものづくり経営改善 インストラクター養成スクール

ねらい

「個々の固有技術をつなぎ合わせて、顧客に向かう『良い設計の良い流れ』を作るものづくり技術の育成を図ります。

対象

- ①ものづくり企業等退職者
- ②滋賀県内企業現場責任者等

県内中小企業の 現場人材育成支援

滋賀ものづくり経営改善 インストラクター派遣事業

県内中小企業に滋賀ものづくり経営改善インストラクターを派遣し、現場から改善を行う人材の育成、支援を行います。

自社内での現場改善の推進を行います。

立命館大学大阪いばらきキャンパス生協食堂改善事例

座席数 850 席、最大来客数 1,000 人



改善事業着手前には、最大待ち時間 10 分、現在 5 分にまで短縮 !!!

滋賀ものづくり経営改善インストラクター養成スクール講座概要

- ①実施期間 平成 27 年 9 月 12 日～平成 28 年 1 月 30 日
23 回 (予定)、毎週土曜日実施、現場実習は金、土曜日で実施
- ②講座内容
 - ものづくり概論 (ものづくりに必要な基礎概念等)
 - 理論・演習 (品質管理、生産性、QC、5S、マネジメント、コーチング等)
 - 現場実習
- ③受講料 ものづくり企業を退職された方 10 万円 (税抜)
県内企業現場責任者、幹部候補者等 25 万円 (税抜)
- ④会場 立命館大学びわこ・くさつキャンパス
- ⑤募集期間 平成 27 年 7 月 16 日 (木) ～平成 27 年 8 月 7 日 (金)

滋賀ものづくり経営改善インストラクター派遣事業実施概要

- ①対象 滋賀県内中小企業等
- ②事業内容
 - 経営者から課題の聞き取り
 - 現場診断の実施とその結果の報告
 - カイゼンレクチャー
 - 現場改善支援等
- ③派遣概要 インストラクター 2 名を 5 回程度派遣
- ④企業負担金 10 万円 (税抜)

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 滋賀ものづくり経営改善センター

TEL : 077-511-1423 FAX : 077-511-1429 E-mail : mmic@shigaplaza.or.jp

10月 滋賀の“ちいさな企業”応援月間

コラボしが21 展示ギャラリー 展示企業募集

○目的

展示ギャラリーは、中小企業、ベンチャー企業の新製品、新サービス、新技術等、販路拡大や技術交流の促進を図るためコラボしが21の1階に設けています。10月に開催される「滋賀の“ちいさな企業”応援月間」にあわせて、県内の小規模事業者による製品、新サービスおよび新技術等の展示を企画しています。販路拡大や技術交流にぜひ積極的にご活用ください。

○対象となる方

滋賀県内に事業所を持つ中小企業・団体

○展示申込

お電話でお問い合わせください。説明いたします。
提出書類は下記になります。

- ・「展示ギャラリー申込書兼備品借用書」
(<http://www.shigaplaza.or.jp/tenji/> からダウンロードできます)
- ・展示内容がわかる資料
(パンフレット、ホームページのプリントアウトなど)
- ・推薦状の提出の代わりに担当者が面談いたします。

○支援内容

展示期間	10月1日(木)～10月30日(金) (土、日、祝日は休館)	使用料	無料
展示時間	午前9時から午後5時30分まで (管理人・案内人は設置いたしません)	募集数	8企業
会場場所	大津市打出浜2番1号 コラボしが21 1階	資料提供 広報支援	滋賀県内マスコミ 30社 (新聞社、放送局)に資料提供します。 プラザホームページ、メルマガに掲載します。
展示面積	展示台 (W900×D600×H730) ×2スペース分 (ギャラリー全体は、7m×7m程度)	備品等	展示台(2台)、 イベントスタンド(1脚) ※各企業



○問い合わせ先 (公財)滋賀県産業支援プラザ 情報支援グループ 担当/田代・橋本
TEL: 077-511-1411 FAX: 077-511-1418 E-mail: jouhou@shigaplaza.or.jp

しが新事業応援ファンド

滋賀県の「地域資源」を活用した新商品・新サービスに助成金をご活用ください。

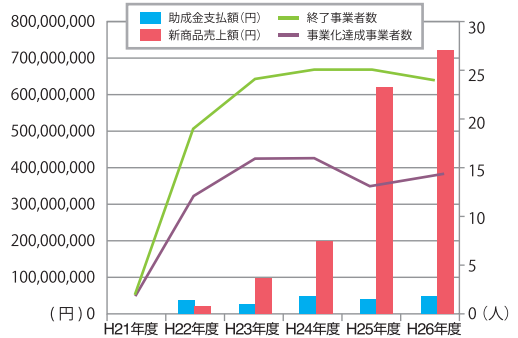
プラザでは、滋賀県の特徴のある地域資源の活用と地域経済の活性化を目指した取組みの中で、「しが新事業応援ファンド助成金交付事業」を平成20年度から実施しています。この事業は、農林水産物、鉱工業品または鉱工業品の生産に係る技術、文化財や景勝地等地域の観光資源など、滋賀県の地域資源を活用して行う新たな商品やサービスの開発への取組みを初期の段階から支援することにより、新事業創出とともに地域のブランド力の向上を目指しています。

この事業により、これまでに販売開始に至った件数は96件で、累積販売額は9億円を超えるなど成果が出ています。

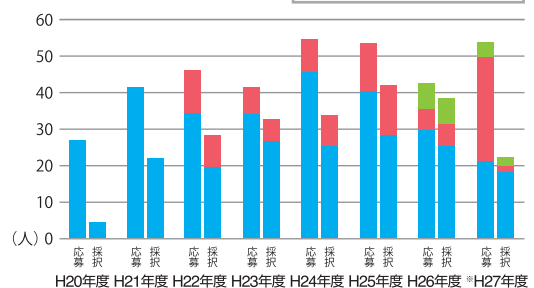
28年度しが新事業応援ファンド助成金事業募集案内

- 募集期間
第1回 平成28年1月4日(月)～平成28年1月22日(金) 17時まで(必着)
- 応募要領および応募方法
プラザのホームページ <http://www.shigaplaza.or.jp/josei/index.html> でご覧いただけます。
また、県、市町の商工観光担当窓口で入手のほか、郵送も可能です。

年度別 事業化達成事業者数の推移 および 助成金支払額と売上額比較



応募件数および採択件数の推移



○問い合わせ・応募提出先 (公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援グループ 担当/長谷川・湯浅・徳久
ファンド担当 TEL: 077-511-1412 FAX: 077-511-1418 E-mail: in@shigaplaza.or.jp

いきいき滋賀モノづくりセミナー in 草津

参加無料

中小企業における、『企業再生』・『生き残り』を真剣に考える「いきいき滋賀モノづくりセミナー」を開催いたします。また、ビジネスパートナーやビジネスチャンスを見つけるきっかけづくりとして、参加者同士の交流会も行います。各企業の経営資源を活かした連携などから新たなビジネスが展開していくよう、中小企業の成長のチャレンジを応援します。ぜひご参加ください！

申込 期限：10月9日（金）17：00 ※先着締め切り

- 日時：2015年10月28日（水）13：00～17：00
- 場所：ホテルポストプラザ（草津市西大路町1-27）
- 対象：主に滋賀県内のモノづくり中小企業 50名程度

特に、このような方におすすめです

- 円安において今やるべき事のヒントがほしい。
- 地方創生 これから向かうべき方向に悩んでいる。
- 人材育成・後継者育成に悩んでいる

【第1部】講演

円安のメーカー対応と中小企業に求めるもの
パナソニック株式会社 アプライアンス社
キッチンアプライアンス事業部
草津工場長 遠矢 大氏

グローバル企業として、環境変化に迅速に対応する製造部門を担当。グローバル社会のお役に立ち、働く人が幸せになれる工場を目指して、「当社の考えていること」と「皆様と一緒に組みたいこと」を現場から見た目線で語っていただき、その中から製造活動のヒントを学ぶ。



【第2部】講演

地方創生と中小企業
立命館大学大学院
テクノロジー・マネジメント研究科
教授 名取 隆氏

1980年に東京大学経済学部を卒業。日本政策投資銀行において各種プロジェクト分析に従事し、豊富な実務経験を有する。東北大学にて博士（工学）を取得。商工団体等の各種委員を務めるとともに、研修会、研究会（技術の横展開講座等）の講師として企業の経営幹部、技術者等の教育、指導に意欲的に取り組んでいる。2009年4月より現職。



【第3部】講演
参加者同士の交流会

こちらも
無料

名刺交換・情報交換を通じて、同業種・異業種の企業とのヨコのネットワークを作るチャンスです！講師も参加予定です。ぜひ積極的にご参加いただき、ビジネスパートナー・ビジネスチャンスを見つけください！

○問い合わせ先 (公財)滋賀県産業支援プラザ 経営・国際ビジネス支援グループ 担当/植村・中嶋
TEL：077-511-1413(直) FAX：077-511-1418 E-mail：keiei@shigaplaza.or.jp

「関西機械要素技術展」@インテックス大阪(10/7～9)に共同出展します！

10月にインテックス大阪で開催される関西機械要素技術展に、「しが新産業創造ネットワーク」として会員企業が共同出展します。展示会では、県内中小企業の秀でた製品・保有技術の展示を行い、産学官連携コーディネータが県内中小企業の持つ技術と県内外を問わず幅広い川下企業等との技術マッチングを行います。

○展示会概要

展示会名：第18回関西機械要素技術展(M-Tech KANSAI)
会期：2015年10月7日(水)～9日(金)
会場：インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区南港北1丁目5-102)
出展ブース：2号館 小間番号10-17
公式HP：http://www.mtech-kansai.jp

○出展企業一覧

企業名	出展内容
(株)金山精機製作所(大津市)	注油器・精密加工部品・鏡面仕上げ部品
近畿精工(株)(長浜市)	金型入れ子、微細加工部品
湖北工業(株)(長浜市)	新規多孔体炭素、光機能を付加したスマートマイクロリアクター
日伸工業(株)(大津市)	精密プレス加工部品
能勢鋼材(株)(犬上郡甲良町)	2.5次元ウォータージェット切断技術



※「しが新産業創造ネットワーク」とは…

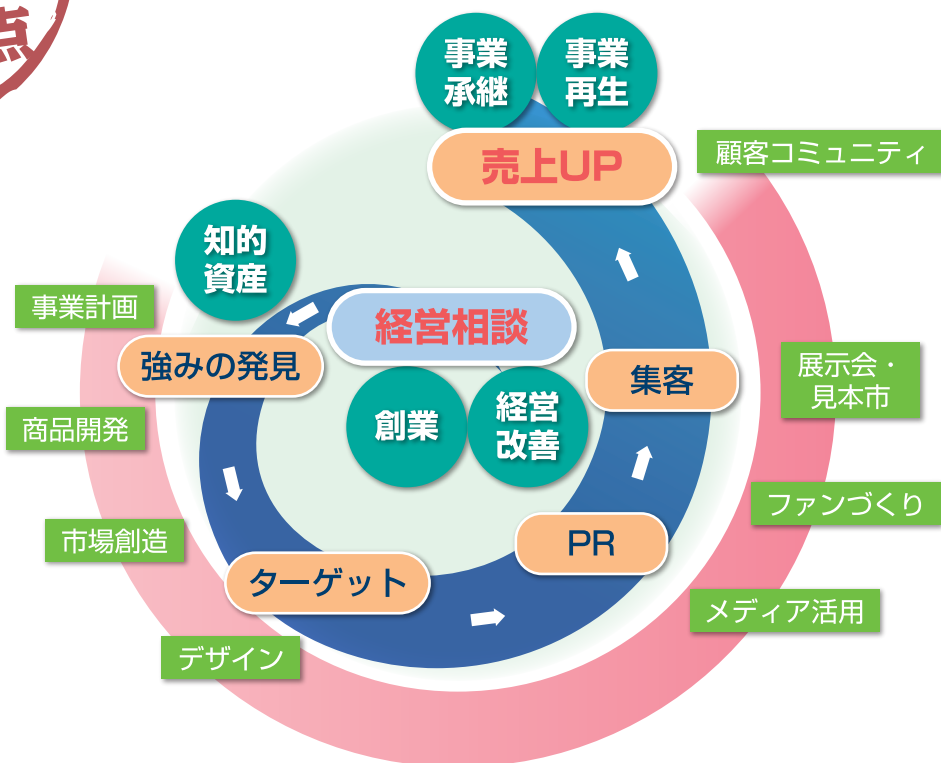
「高度モノづくり」および「水・エネルギー・環境」の切り口からイノベーションの創出に取り組むため、研究開発や新事業創出に意欲的な企業および大学、研究機関等で構成されるネットワーク組織です。

○問い合わせ先 (公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進グループ 担当/福井・中村
TEL：077-511-1414 FAX：077-511-1418 E-mail：shin@shigaplaza.or.jp



滋賀県よろず支援拠点

経験豊富な専門家に何回でも無料で相談できます！



「経営相談」に始まるよろずの支援スキーム

よろず支援の具体例

相談内容	課題整理	解決策の提案	成果
支援例 1 小売店の障碍者用メガネの開発・販売	<ul style="list-style-type: none"> ●小売業から製造業へシフト ●開発スペックの検討 ●利用スタイル 	<ul style="list-style-type: none"> ●製造業としての事業(収支)計画 ●競争を意識したコスト構造 ●レンタルサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ●開発に関わる資金として、ものづくり補助金の獲得 ●競争を意識した低コストの生産方式 ●商品のリユース
支援例 2 伝統技術を生かした商品開発と資金繰り	<ul style="list-style-type: none"> ●マーケティング戦略の構築 ●資金調達 ●商品のキャッチコピー、ネーミング ●海外シフト 	<ul style="list-style-type: none"> ●しが新事業応援ファンド、ものづくり補助金等支援施策紹介 ●国内外の販売サイトへの登録 ●海外向け英文パンフレットの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●しが新事業応援ファンドに採択される ●新ネーミングの商品化 ●販売サイトの構築中 ●海外の買付相談にサンプル提供 ●商品の日本語・英語のパンフレット完成

滋賀県よろずのスタッフ

CO : コーディネーター SCO : サブコーディネーター



北村 省一 (CO)
事業戦略・企画

中小企業の事業戦略、事業計画づくりの支援を行っています。売上アップに向けてさまざまな角度(集客等)から支援を行っていきます。



西山 彰子 (SCO)
創業・起業・事業を通じた地方創生

ファイナンシャル・プランナー資格保有。(一級ファイナンシャル技能士、CFP®認定者)。2013年に独立開業し、特に女性の起業支援に携わる。



杉 律子 (SCO)
デザイン・広告戦略・販売促進

グラフィックデザイナー。売上向上のためのチラシづくりや店舗デザイン、商品デザインや集客のための販売促進支援を行っています。



久保 修 (SCO)
マーケティング・販路開拓

売れるモノ、売れる仕組で売上アップのお手伝い。ターゲットや市場開拓などマーケティング支援をお手伝いさせていただきます。



田中 清行 (SCO)
経営戦略・事業再生・財務

中小企業診断士歴 29 年と、銀行、保証協会、再生支援協議会で通算 18 年の企業経営支援実績あり。全力支援します！



藤本 正一 (SCO)
ものづくり

家電メーカーにおけるものづくりの設計開発の経験と中小企業診断士としての企業支援の経験を活かしてものづくり企業の支援を行っています。

(公財)滋賀県産業支援プラザ内 滋賀県よろず支援拠点

滋賀県大津市打出浜 2-1 コラボしが 21 TEL : 077-511-1425 FAX : 077-511-1418 E-mail : yorozu@shigaplaza.or.jp

プラザでは、平成27年度から5年間のプラザ経営の方向性や事業目標、重点的に取り組むべき施策を中心に取りまとめた「第三期中期経営計画」を策定しました。(以下抜粋)

1. 信頼性の確保	顧客重視の視点に立ち、顧客から信頼される中で、質の高いサービスや支援に努める。
2. 県域を対象とした支援	県域全体を支援対象とし、企業等の要請があれば迅速かつ丁寧な対応に努める。
3. 多様な支援の展開	経営革新、販路開拓、技術開発、創業、情報化など、企業の発展段階やニーズに応じた多様な支援を展開する。
4. 幅広い情報の提供	プラザが持つ幅広い企業支援情報などをタイムリーに提供し、支援に努める。
5. 連携の強化	産学官金連携をはじめ、これまでプラザが構築してきたネットワークや交流の場を活用し、連携の強化に努める。
6. 多様な人材の活用	多様な経験を有するプラザ職員や専門家などの人材の活用や提供に努める。

計画の事業体系

【事業目標】

【重点施策】



※支援事業名と支援グループは、裏面の事業体系図をご覧ください。

滋賀県産業支援プラザ 平成27年度 事業体系

多様な支援・幅広い情報の提供・築きあげたネットワークの連携。
多様な人材の活用等より、中小企業者等を支援します。

中小企業の経営基盤の強化

- 経営革新支援**
 - 県中小企業支援センター事業
専門家派遣事業／事業可能性評価事業（「めきさ・しが」）
 - 省エネ診断支援事業
 - 情報化推進事業
IT 経営セミナー、研究会の開催／IT 専門家の派遣
- 相談体制の充実**
 - 県中小企業支援センター事業【再掲】
窓口相談事業（プロジェクトマネージャー等支援人材配置）
 - よろず支援拠点事業
 - 中小企業金融事業
開業資金・政策推進資金の受付等
 - 下請企業振興事業
受・発注のあっせん／専門調査員による企業訪問・調査
- 企業人材の育成支援**
 - 経営力強化研究事業（経営基盤・技術向上等研究会の開催）
 - 滋賀発の産業・雇用創造推進プロジェクト事業
産業・雇用創造推進センター
 - 滋賀ものづくり経営改善センター事業
ものづくり経営改善センター

総務企画グループ（代）
TEL：077-511-1410

● 情報支援グループ
TEL：077-511-1411

● 経営・国際ビジネス支援グループ
TEL：077-511-1413

● 貿易投資相談窓口
TEL：077-521-6638

● 創業支援グループ
TEL：077-511-1412

● 連携推進グループ
TEL：077-511-1414

● よろず支援拠点
TEL：077-511-1425

○ 産業・雇用創造推進センター
TEL：077-511-1424

● 滋賀ものづくり経営改善センター
TEL：077-511-1423

販路開拓およびマッチングの強化

- 販路開拓支援**
 - ちいさなものづくり企業等成長促進事業
販路開拓員による企業訪問・調査／ビジネスマッチング会（商談会）の開催
企業グループ構築のためのセミナー・交流会の開催
- 国際ビジネス支援**
 - 海外展開支援事業
国際ビジネス情報デスク（貿易投資支援相談窓口）／海外展開支援セミナーの開催
- 下請企業の振興**
 - 中小企業知的財産活動支援事業（中小企業外国出願支援事業）
 - 下請企業振興事業【再掲】
受・発注のあっせん／専門調査員による企業訪問・調査
 - 下請かけこみ寺事業

起業・創業および新たな事業活動の支援

- インキュベーション施設の活用**
 - コラボしが21 インキュベーション支援事業
創業準備オフィス／創業オフィス
 - テクノファクトリー事業
 - 草津SOHOビジネスオフィス支援事業
 - 米原SOHOビジネスオフィス支援事業
- 起業・創業者の発掘支援**
 - 創業補助金（地域需要創造型等起業・創業促進事業）
 - IM（インキュベーションマネージャー）ネットワーク推進事業
 - ビジネスカフェ「あきんどひろば」
 - コミュニティビジネス推進事業
- 地域資源の活用促進**
 - 地域の創業応援隊事業
 - しが新事業応援ファンド支援事業
 - クリエイターネットワーク化推進事業

産学官金連携による新事業創出の促進

- 新技術の研究開発支援**
 - 産学官連携コーディネート拠点運営事業
「産学官連携コーディネータ」による支援／開発成果および研究成果のPR強化
 - 工業技術振興事業
「しが新産業創造ネットワーク」の啓発普及事業
 - 戦略的基盤技術高度化支援事業
- 医工連携によるものづくり支援**
 - 医工連携ものづくりプロジェクト創出支援事業
医工連携ネットワークの形成／産学官連携プロジェクト構築支援および情報発信
 - 健康創生産業創出エコシステム推進事業
医療ニーズ・技術ニーズ探索推進事業／医療機器事業参入支援推進事業
 - 医工連携事業化推進事業（課題解決型医療機器等開発事業）
- 成長が期待される分野の育成**
 - 「しが新産業創造ネットワーク」「しが医工連携ものづくりネットワーク」等ネットワークの活用による成長産業分野の育成・振興

情報発信の充実および強化

- タイムリーな情報の収集・提供**
 - 報収集・発信事業
ホームページの充実／滋賀県企業情報検索市場（skki）の運用／
企業支援ガイドブック2015の発行／
情報誌「うちのこつち」、メールマガジンの発行／情報資料コーナーの充実
 - 滋賀のクールな商品・サービス紹介サイトの運用（ココクール事業）
- 双方向コミュニケーションの強化**
 - プラザ Facebook の運用
 - 「ミラサボ」の活用

公益財団法人
滋賀県産業支援プラザ

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号コラボしが21 2階
TEL 077-511-1410（代表）
FAX 077-511-1418
E-mail info@shigaplaza.or.jp
URL http://www.shigaplaza.or.jp/



■ JR琵琶湖線（東海道本線）「大津」駅より徒歩約20分、バス約7分、「膳所」駅より徒歩約15分
■ 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分（JR 膳所駅／JR 石山駅乗り換え）

【編集後記】先日、(7月9日)「プラザ事業説明会」が実施されました。今回の説明会は、商工会・商工会議所等の産業支援機関、経済団体、金融・投資機関等、直接、事業者と接する方々を対象に、一層きめ細かな情報提供に向け、「よりタイムリーに」、「より適切に」施策紹介等が行き届くように開催いたしました。本誌「元気企業！紹介」の中では、企業様のお話を楽しみながら、支援例をご参考にしていただけるようにしております。これからもプラザをより身近に感じていただき、有益な情報を提供できるよう努力して参ります。